

# 看護部通信

2022. 6. 1 発行 第56

#IOSPY

ホスピタルグループ腎透析事業部看護部

ホスピタルグループ腎透析事業部統括看護部長

宮下 美子

新年度が始まり、あっという間に2か月過ぎてしまいました。4月に入職された方ももう慣れてきたころではないでしょうか。連休明けのコロナリバンドもなく、この落ち着いている間に、看護部として活動していきたいと思えます。事業部看護部の目標に沿って、様々な企画を立てています。それぞれ新ラダーに反映されるようにしていきます。新しいものも、継続するものも、目標が達成できるように、各施設、個人での取り組みを期待しています。

2022年度看護部目標 キーワード: 情報活用、シームレス、看護実践の振り返り ※重点目標

	大目標	中目標
顧客	安心安楽な療養生活のための看護実践・サービス	※①患者家族の個別性を尊重した看護実践のみえる化 ②多職種連携によるサービスの提供
内部プロセス	看護の質を高めるための体制づくり	①専門性の高い看護師を活用する体制づくり ※②看護業務の見直しとシステムの再構築(医療安全・タスクシフト)
学習と成長	個々に合わせたキャリア支援	①教育環境の整備と活用 ※②対話や語りの学び合い
財務	社会情勢に合わせた取り組み	①診療報酬を考慮した収益の維持・向上への取り組み ※②みんなで作る働きやすい職場環境づくり

## NEWS

### 第25回日本腎不全学会学術集会・総会 第7回アジア腎不全看護シンポジウム

- ★CKDLN受験・更新資格20ポイント
- ★共同企画2に出席した方は、腎臓病療養指導士

に関する企画・研修への参加5単位取得

演題登録  
ありがとう!  
参加登録も  
よろしく!!

LINE 最新情報をお知らせ  
していきます。

友達登録はこちらから



第25回  
日本腎不全看護学会  
学術集会・総会  
支え合うケア  
～シームレスな連携～  
Mutually Supporting Care - Seamless Coordinate -  
2022年10月15日・16日  
大会長 宮下 美子 (Miyashita Misako)  
第7回  
アジア腎不全看護  
シンポジウム  
経験を共有し、  
危機を乗り越えよう  
Sharing our experiences to overcome the crisis  
2022年10月15日  
大会長 平松 美紀 (Hirayama Miki)  
名古屋国際会議場  
〒466-0031 愛知県名古屋市中区高宮1302  
TEL: 052-808-2100 (代) FAX: 052-808-9238  
〒460-0002 愛知県名古屋市中区高宮南1-1-5 新生会第一病院内  
TEL: 052-850-3430 (代) FAX: 052-850-3370  
E-mail: jpn-anns2022@congre.co.jp

# 2021年度腎事業部看護部の活動報告

2021年度の看護部の活動のなかでもトピックな取り組みをご紹介します。  
2022年度も有意義な委員会活動を企画しております。

## 意思決定支援（事例検討会の実際）

目的：意思決定支援について根拠に基づいた事例を通じた学びを深め、実践にいかす  
根拠に基づいた事例を通しての学び：事例検討会

ゴール：意思決定支援に関する事例について文献やガイドラインを用いて学びを深め介入の方向性を明確にして実践できる。

①10/21事例検討会提供部署：東海クリニック

検討内容：患者自身は住み馴れた自宅で暮らすことを希望する患者と、  
家族だけで支えるには限界があり不安を感じている家族

への意思決定支援

参加人数：37名

スーパーバイザー：岡山顧問 宮下統括看護部長 片村看護部長 田中主任（サイコネフロロジーズ）



②12/24事例提供部署：東海クリニック・新生会第一病院  
(病棟・透析室・MSW)

参加人数：39名

スーパーバイザー：齋藤 凡先生（東京大学医学部付属病院・腎不全看護学会理事） 岡山顧問 宮下統括看護部長  
澤村師長・松田師長・田中主任（サイコネフロロジーズ）

倫理の4原則と各ガイドラインと照らし合わせ検討しました



齋藤 凡先生をお招きし  
貴重なアドバイスが頂けました

【意思決定支援  
担当 東海クリニック 小塚師長】

## 新ラダーの作成・活用

HOSPYグループ腎透析事業部看護部は、既存のクリニカルラダーを『看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）』と照合し、看護師の能力開発・評価を見直し、改定に向けて2018年度から取り組み、2021年度完成することができました。各ラダーの行動目標に到達するためにHOSPYグループ腎透析事業部看護部独自の実践例を作成しました。

クリニカルラダーの評価基準が変更になりましたのでご紹介します。評価は、5段階とし、全項目『B』以上を合格基準とします。ただし、『N』は対象外とし、1年後は『C』以上にすることを条件とします。経験できないことについては、各部署で代替学習を行ないます。

	段階の表現	内容
A	よくできる	自ら取り組みが実施できる
B	できる	一通りできる。少しの支援(10~30%程度)を受ければできる
C	努力を要する	50%以上の支援を受ければできる
D	非常に努力を要する	全面的な支援を必要とする
N	実施の機会がなかった	実施の機会がなかった

クリニカルラダーは、一人ひとりの看護実践力や成長を可視化し、キャリアアップに必要な目標設定ができます。より一層、看護の質を高めて患者様へより良い医療の提供を目指していきましょう。

【新ラダーの作成・活用担当 鳴海クリニック 関川師長】

## 看護補助者・クラーク研修

2021年10月28・29日にケアスタッフ・クラーク研修を行い、2日間で56名の方に参加いただきました。内容は、原師長による「わかりやすい院内の感染対策について」の講義と、「こんな職場は嫌だ、こんな職場にしたい～私達は明日から何をやる」のテーマで活発な意見交換が行えました。研修後のアンケートから、今回の学びは今後どう活かせるかでは、「予防策をきちんと行いお互いの安全を守れるようにしたい」「共に頑張っている方々がこんなにもいるのだから、私もよりよい職場にするためにもっと努力しようと思えた」等の感想がありました。オンライン開催については初めて経験する人も多い中「オンライン開催に慣れていなくて最初とまどったが、途中から慣れて楽しい交流の場を持てた」とポジティブな意見が多数ありました。2022年度も開催予定のため、多数のご参加をお待ちしています。



【医療安全担当 東海クリニック 中尾幸子】

編集(宮下・山内) 腎透析事業部看護部事務局:名古屋市天白区高宮町1302 新生会第一病院内

編集責任者 宮下美子(miyashita@hospy.or.jp)